

こんしゅう あん そく び
今週のことば「安息日」

せいしょ ふくいんしょ
《聖書》マルコによる福音書 2:23-3:6

あん そく び
安息日

じん いっしゅうかん なのか め どうよう
ユダヤ人は一週間の七日目である土曜
び もの きゅうよう あた あん
日を、すべての者に休養が与えられる安
そくび さだ たいせつ しんめいぎ
息日と定めて大切にしています。申命記
ど れい
5:15では、エジプトで奴隷であった
おも お ど れい かいほう
ことを思い起こして、奴隷からの解放の
き ねん あんそくび まも おし
記念として安息日を守るように教えてい
しゅつ き かみ
ます。出エジプト記20:11では、神
てんち そうぞう とし なのか め やす
が天地を創造された時に七日目に休み、
しゅくふく せいべつ あんそくび まも
祝福し聖別されたので安息日を守るよう
おし
に教えています。

た ぶん かみ てんち つく とし なのか め
多分、神が天地を作られた時、七日目
やす はな あんそくび たいせつ
に休まれたという話しは、安息日の大切
おし つく ものがたり かんが
さを教えるために作られた物語と考えら
たいせつ かみ
れます。大切なのは、すべてのものは神
いただ なのか いち
から頂いたものであり、七日のうちの一
にち かみ ささ
日を神に献げることです。

あんそくび ろうどう やす
ですから、安息日には、ただ労働を休

かみ かんしゃ ささ
むだけでなく、神に感謝を献げるために
あつ ひ きゅう
集まる日となりました。キリスト教では、
きゅう あんそくび せいしん う
ユダヤ教の安息日の精神を受けつぎ、イ
ふっかつ ひ しゅう はじ
エスの復活した日、すなわち週の始めの
ひ しゅ ひ いわ
日を主の日として祝うようになりました。

ひと さだ あんそくび
人のために定められた安息日

きゅう あんそくび おきて じゅう
ところで、ユダヤ教で安息日の掟が重
ようし
要視されるようになったのは、バビロニア
はしゅう じ だい おも
捕囚の時代になってからだと思います。
しんでん は かい さいざちゅうしん
エルサレムの神殿が破壊され、祭儀中心
せいかつ りっぼう ちゅうしん せいかつ
の生活から律法を中心とした生活になっ
たからです。

じ だい あんそくび まも
イエスの時代、安息日を守るためにた
き そく さだ
くさんの規則が定められていました。そ
せいかつ お ひとびと
のため、生活に追われている人々にとっ
あんそくび まも
て、安息日を守ることはとてもむずかし
いことでした。

あのかび さだ い み おも
イエスは安息日の定められた意味を思
お ひと あんそく
い起こさせるために、「人のために安息
び しゅちゅう
日」があることを主張したのです。

ねんかんだい しゅじつ ねん たきの
年間第9主日B年（滝野）